



題字 埼玉県立伊奈学園総合高等学校 3年生 戸邊 日南子 様

シェイクアウト埼玉

令和5年9月1日実施

多くの県民の皆さまに
参加いただきました。



関東大震災から100年に当たる本年に実施した今回の訓練には、約60万人の方にご参加いただきました。また、プラスワンの訓練として多くの方が防災への取り組みを主体的に考え実施していただきました。皆さまの防災意識を高めるきっかけとなれば大変うれしく思います。引き続き、平常時から災害に対する備えをお願いいたします。

埼玉県議会議長 立石泰広

シェイクアウト埼玉の
登録者数
594,476人

参加形態別登録人数

参加形態	登録人数
学校関係	425,008
地方自治体 (自治体呼びかけの 参加者含む)	63,371
企業・団体	49,280
保育園・幼稚園	27,080
個人・家族	1,869
その他	27,868
計	594,476



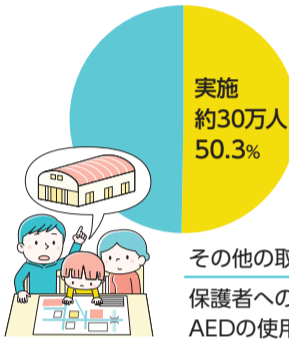
埼玉りそな銀行県庁支店の訓練の様子

シェイクアウト+1訓練

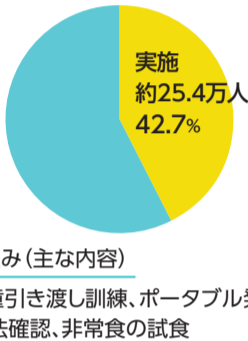
プラスワン

シェイクアウト訓練のあとに、さらにプラスワンの取り組みとして「避難経路の確認」などに参加いただきました。

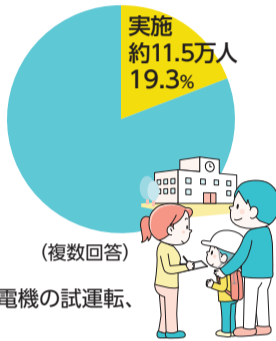
■避難経路の確認



■避難場所の確認



■備蓄品の確認



その他の取り組み(主な内容)

保護者への児童引き渡し訓練、ポータブル発電機の試運転、AEDの使用法確認、非常食の試食

主な内容

1面

- ◆シェイクアウト埼玉
- ◆9月定例会の動き
- ◆議決の概要
- ◆議員政策研修会を開催
- ◆親子傍聴室がオープン

2・3面

- ◆一般質問
- ◆意見書・決議
- ◆県議会広報ラジオ番組・テレビ番組
- ◆秋のSNSフォローキャンペーンを開催中!

4面

- ◆委員会レポート
- ◆決算特別委員会を設置
- ◆県議会クイズ プレゼント付き

会派別所属議員数 令和5年11月1日現在

会派名(略称)	所属議員数
自民	58人
民主フォーラム	12人
公明	9人
県民	7人
共産党	3人
改革	1人
維新	1人
無所属	2人
計	93人



議会だよりをスマホで読めます。



ブックシェルフ埼玉
議会だよりを電子書籍で
読めます。



県議会公式 X
(旧Twitter)
県議会の最新情報を発信します。



県議会マスコット
「ポッポ」

9月定例会の動き

定例会が9月22日(金)から10月13日(金)までの22日間にわたり開かれました。

9月22日 開会日

知事提出議案について、知事から提案説明が行われました。

9月28日・29日・
10月2日～4日 一般質問

15人の議員が質疑・質問を行い、大野知事の2期目に向けた公約などを質したほか、活発な論議がなされました。4日には知事追加提出議案について、知事から提案説明が行われました。(2・3面)

10月6日 常任委員会

条例などの議案および請願の審査などが行われました。(4面)

10月11日 特別委員会

付託案件の審査が行われました。(4面)

10月13日 閉会日

各委員会の委員長報告を受けて討論・採決が行われました。

議決の概要

●知事提出議案

●令和5年度埼玉県一般会計補正予算(第2号)

歳入歳出予算補正額 165億1,057万9千円

- ・高齢者・障害者施設等における新型コロナウイルス感染症対策の支援継続に要する経費
- ・企業版ふるさと納税を活用したeスポーツの普及・裾野拡大に要する経費
- ・公共事業の追加・適正工期の確保に要する経費

●旅館業法施行条例の一部を改正する条例

など16件を可決、そのほか2件を継続審査、12件に同意

●議員提出議案

●建設業における労働環境の整備を求める意見書

●物流の2024年問題への対応を求める意見書

●建設アスベスト被害者の救済を求める意見書

●北朝鮮による弾道ミサイル技術を使用した衛星打ち上げに断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議

など12件を可決

※埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例は撤回承認されました。

親子で本会議を傍聴できる 専用スペースがオープンします。



令和5年12月定例会から

一般の傍聴席とは別室で、お子さま(乳幼児および児童に限る)と一緒に気兼ねなく傍聴できるようになります。

議員政策研修会を開催

9月22日(金)に議員政策研修会を開催し、サイエンス作家の竹内 薫氏に「チャットGPT等の生成AIとの付き合い方」をテーマに講演していただきました。

生成AIの進化や普及は急速に進展しており、今後もさらなる社会変革がもたらされることが予想されます。生成AIの普及で私たちの生活はどう変わり、どのようなリスクがあるのか。

チャットGPTなどをはじめとする生成AIの今後の活用についてお話しいただきました。



10月2日(月曜日)



渡辺聡一郎 (自民)



細川 威 (民主フォーラム)



須賀昭夫 (自民)

9月29日(金曜日)



松下昌代 (無所属)



井上 航 (県民)



長峰秀和 (自民)

9月28日(木曜日)



安藤友貴 (公明)



水村篤弘 (民主フォーラム)



浅井 明 (自民)

一般質問

9月定例会の一般質問は、9月28日から行われました。15人の議員が質疑・質問を行い、活発な論議が行われました。



農業

A 就農を希望する農家子弟に対し農業大学校での技術習得を勧めている。また定年後直ちに就農を希望する者に栽培技術資料の提供や経営計画策定支援、補助事業や制度資金の紹介を実施。今後、定年後の農家子弟の就農に向けた課題を整理、分析し国へ必要な支援策の拡充を要望する。

Q 農業の担い手不足と高齢化の問題は、いまだ改善の兆しがない。特に農家の多くを占める小規模農家への対策が重要。小規模農家の子弟が定年後に就農できるように後押しする仕組みが重要と考えられているか。また支援策の拡充に向けて国への働きかけが必要と思うがいかがか。

小規模農家への支援について

A 若者にSNS投稿を促すため多様な業種と連携しプロモーションを展開する。さらに記念日に花を贈るキャンペーンなども実施し花きの消費拡大につなげる。また博覧会への出展は、花植木の消費拡大につながるため前向きに検討する。県民への周知は広報媒体をフル活用する。

Q 本県花き産出額は全国6位。「埼玉花き産業」を県民に知ってもらうため、若年層から幅広い世代に認知を広げるプロモーションを行う考えはあるか。また2027年開催の国際園芸博覧会は本県の花きアピールの絶好のチャンス。これをどう生かし、県民にどう周知するか。

花き産業支援の促進について



保健・医療

A 各市町村の子育て支援の拡充を前提とし、乳幼児医療費支給事業の対象年齢引き上げと所得制限撤廃を実施したい。通院医療費が10歳を超えると少なくなるため、通院は小学校3年生まで、入院は全市町村が助成対象としている中学校3年生まで拡大する方向で進めたい。

Q 知事2期目の公約や就任記者会見などで、子どもへの医療費助成の対象を拡大していく考えが示された。対象拡大を求めたが、これまでの県議会での質問を踏まえ、改めて子ども医療費助成制度の対象拡大について所見を伺う。また、対象年齢をどこまで拡大するのか考えを伺う。

子育て支援について

A 小児慢性特定疾病の医療費助成を受け、悪性新生物を治療中の児童は、令和4年度末時点で1007人。病気の障害を抱える子どもの支援は重要。国の動きも注視しつつ、こどもホスピスを含めさらなる支援を研究したい。開設ニーズがあれば、部局横断による支援策を検討する。

Q 県内に生命を脅かす病気を抱える子どもは、どれくらいいるのか。誰一人取り残されない埼玉を目指す知事のこどもホスピスに対する所見を伺う。また、こどもホスピス開設の動きが出てくれば、部局をまたぐ連携体制についても早い段階から準備を行うべきと考えるがいかがか。

こどもホスピス(*1)について



産業

A センターでは個人や企業と連携し開発できる施設を整備。セミナーや研究会などを開催し、対話の機会を創出することでオープンイノベーションを生み出す。今後は、県内外でネットワークをPRし商談会も開催。また、渋沢栄一創業プロジェクトと連携を図り強みを生かしていく。

Q ロボティクスセンターの研究開発手法としてオープンイノベーション(*3)を掲げているが、どのように進めていくのか。またロボティクスネットワーク(*4)は、会員の交流や渋沢栄一創業プロジェクト(*5)との連携などさまざまな展開が考えられるがいかがか。

SAITAMAロボティクスセンター(仮称)(*2)について



福祉

A 最善の処遇改善は国の公定価格の見直し。県は直接支援が届く就職準備金貸付や奨学金返済事業などを実施。給与の上乗せは単年度に乗せたいものが確認できてもベースアップをその分押し下げるなどの確認ができない。そこをどう確認できるかを直接補助の効果と合わせ検証する。

Q 保育士の人材不足が顕著な市町村は、すでに独自の補助を賃金に上乗せして人材確保を図っている。知事の2期目あたり、今一度保育士の人材確保に向けた処遇改善のため、県としても賃金を上乗せし市町村の後押しをする形で支援することについて知事の所見を伺う。

保育士人材確保に向けた処遇改善について

A 起業相談や交流会などの支援に加え、ネットワーク会議を設置し女性起業家輩出の体制を構築。起業家向け低利率の融資で資金調達を支援。同一労働同一賃金推進については、セミナーや専門家派遣で企業を支援。処遇改善のため非正規雇用の女性のリスキリングを支援している。

Q 女性起業家を生み出すためのような支援や連携を行っているか。また、資金調達が必要な女性にどのような支援をしているか。同一労働同一賃金制度推進のため中小企業への支援が必要と考えられているが、県の取り組みを伺う。さらに非正規雇用の女性に対する処遇改善支援について伺う。

多様化する女性の働き方支援について

A セミナーなどでの運営スタッフの育成、企業とのマッチングによる活動場所の確保支援、地域内の相互扶助につながる地域ネットワーク立ち上げ・強化への助成などを行っている。アドバイザー派遣などによるアウトリーチ機能強化も図りながら目標に向けしっかりと取り組んでいく。

Q 知事は子ども食堂など子ども居場所を800カ所以上設置するとしているが、達成にはさらなる工夫と支援が必要。運営スタッフの育成・支援、活動場所の確保、活動費補助に取り組むべき。利用者が必要な支援に結び付けるアウトリーチ機能の強化なども必要と考えるがいかがか。

子ども食堂の支援について



災害対策

A ボランティアはイベントなどを通じ増員に取り組み。市町村とはボランティア派遣の要否など連絡票による情報共有を開始。今後チャット活用を視野に連携体制を構築する。ペット同行避難の定着に次ぐステップとして同室避難所開設の働き掛けやガイドラインへの掲載を検討する。

Q 災害時動物救護ボランティアの増員や、動物救護活動を必要とする市町村との円滑な連携体制の構築といった課題にどう取り組むか。また市町村においてペット同室避難所開設に向けて認識を高めるため、県策定のペット同行避難ガイドラインへの掲載、周知について所見を伺う。

動物と共生する社会の実現に向けて



危機管理

A 重要インフラ事業者と埼玉県サイバーテロ対策協議会を設立し、セミナーを開催するなど協力的体制を構築。また、事業者を個別訪問しサイバー空間の脅威情報や通信機器の脆弱性に関する情報を提供。さらにサイバー攻撃を想定した共同対処訓練を実施し、被害の防止を図っている。

Q サイバーテロは、社会の重要な基盤を機能不全に陥れる行為で、県民生活に大きな支障をきたすことになる。巧妙化するサイバー攻撃の被害は増え続けており、インフラ業界でもサイバーテロのリスクが高まっている。県内の重要インフラに対するサイバーテロ対策について伺う。

県内にある重要インフラをサイバーテロから守る取組について

ホームページで
ご覧になれます
一般質問の質疑
問・答の全文は
こちらからご覧
になれます。



本会議の様子



副議長
岡田静佳



議長
立石泰広



10月4日(水曜日)
小川真一郎(自民) 阿左美健司(自民) 逢澤圭一郎(自民)



10月3日(火曜日)
高橋裕裕(自民) 戸野部直乃(公明) 金子裕太(自民)

用語解説

- *1 **こどもホスピス**
小児がんなどの命に関わる病気や、重い障害のある子どもとその家族が、専門知識を持った看護師などのサポートを受けながら過ごすことができる施設。(法令などに基づく施設の設定はない。)
- *2 **SAITAMAロボティクスセンター(仮称)**
農業大学校跡地周辺地域に、ロボット開発を支援するための実証フィールド「ロボット開発支援フィールド(仮称)」と拠点施設「ロボット開発イノベーションセンター(仮称)」を整備予定。この実証フィールドと拠点施設の総称。
- *3 **オープンイノベーション**
新技術・新製品の開発に際して、組織の枠組みを越え、広く知識・技術の結集を図ること。
- *4 **ロボティクスネットワーク**
SAITAMAロボティクスセンター(仮称)を拠点にロボット開発に関わる多様な主体が集まり、協働して社会的課題解決に資するロボットの開発および社会実装を促進し、県内産業の振興と経済的発展を図ることを目的とした組織。
- *5 **渋沢栄一創業プロジェクト**
新産業の創出や地域経済の活性化を促進するため「渋沢栄一創業プロジェクト」と題し、日本経済の発展に大きく貢献した渋沢翁の理念を受け継ぎ、起業家や起業希望者、ベンチャー企業を支援するプロジェクト。
- *6 **埼玉版スーパー・シティプロジェクト**
埼玉版スーパー・シティプロジェクトは、超少子高齢社会を見据え、市町村の「コンパクト」「スマート」「レジリエント」の3つの要素を兼ね備えた持続可能なまちづくりを県が支援するプロジェクト。
- *7 **埼玉郷土芸能サポーター制度**
埼玉県の郷土芸能を企業等と行政が一体となって未来へ受け継ぐという社会的気運を醸成することを目的として、郷土芸能の保存・継承に協力していただける県内の企業や団体を「埼玉郷土芸能サポーター」として登録し、官民共同で郷土芸能を守っていく取り組み。
- *8 **eスポーツ**
「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉であり、コンピュータゲーム、ビデオゲームを使った対戦をスポーツ競技として捉える際の名称。

教育



魅力ある県立高等学校に向けて

Q 熊本県では、自治体と県民間企業が連携し魅力ある学科を新設したが、本県でも同様な仕組みができないか。魅力や特色のある高校を増やすため普通科改革をどう考えるか。また、工業高校が魅力ある高校となるため、生徒が最新技術に触れる工夫はできないか。

A 地元自治体からの要望があれば、その意見も丁寧に向いながら、魅力ある県立高校づくりを進めていく。普通科改革は高校進学希望者の選択肢が広がる効果が期待できる。工業高校では、生徒が企業等で先端機器を活用した実習ができるよう取り組んでいく。

県立中高一貫校設置拡大について

Q 県立中高一貫校の伊奈学園の人気は高いが、遠いので通えないという声もある。身近な地域で希望に合った教育を受けることは子どもたちの郷土愛を育み、本県の将来の大きな財産になる。子どもや保護者のニーズを把握し、県立中高一貫校設置拡大の検討を速やかに進めるべき。

A 伊奈学園中学の生徒へのアンケート調査や、他県の中高一貫校の視察などを行い、新たな中高一貫校の設置検討を進めている。進学を考える児童や保護者の中高一貫教育へのニーズ把握を行うとともに、特色ある教育課程や通学の利便性に配慮した配置の在り方などを検討していく。

交通

免許返納後の移動手段に象徴される交通弱者への対応をどうするか

Q 急速に高齢化が進む本県は、免許返納後の交通弱者への対応が課題。高齢者の使いやすさを考えた交通サービスの実現に向け、問題意識を市町村と共有することや、補助制度の使い勝手がポイントとなると思うが、県として市町村とともにどのように取り組んでいくのか。

A 市町村の地域公共交通会議などのほか、県主催の研修会などを通じ問題意識の共有を図ってきた。引き続きあらゆる機会を通じて、市町村と意識共有を図り、埼玉版スーパー・シティプロジェクトの補助制度との連携を一層強化しつつ、市町村を積極的に支援していく。

文化

伝統芸能の魅力・継承

Q 県の魅力を高め地域活性化につながる伝統芸能の魅力をどう考えるか。また、伝統芸能の魅力の発揮にどう取り組むか。さらに今後、担い手確保のため伝統芸能活動に参加しやすい環境づくりが必要だが、そうした環境の実現に向けてどのように取り組むのか。

A 伝統芸能は優雅さ、力強さなどが魅力。魅力発揮のため、彩の国さいたま芸術劇場を活用した事業などを実施。また埼玉県和光文化フェスタなど県民が伝統芸能に触れる取り組みや埼玉郷土芸能サポーター制度(*7)により伝統芸能活動に参加しやすい環境づくりを推進していく。

スポーツ

eスポーツ(*8)の推進による県の魅力向上を

Q 民間企業によるeスポーツ振興が進んでいるが、県によるeスポーツ振興の意義をどう捉え推進するか。またeスポーツは、毎年国際大会が開催され経済効果をもたらすイベントになっている。県の魅力発信やマーケティング効果も期待できる国際大会の誘致を行うべきと考える。

A eスポーツは行政が活用できる多様な可能性があり、県は可能性を実証し、旗振り役となって普及・裾野拡大を図っていく。将来、県内で国際大会が開かれるよう、県民のeスポーツに対する理解や気運の高まり、関係者とのネットワークづくりなど大会開催の素地を作っていく。

意見書・決議

意見書9件を可決し、国に提出しました。また、決議を1件可決しました。(●は全会一致での可決、○は賛成多数による可決)

- 建設業における労働環境の整備を求める意見書
- 物流の2024年問題への対応を求める意見書
- 建設アスベスト被害者の救済を求める意見書
- 公立教員の処遇改善等を求める意見書
- 信号灯器のLED化の早期実現を求める意見書
- 高病原性鳥インフルエンザ対策を求める意見書
- ブラッドパッチ療法に対する適正な診療上の評価等を求める意見書
- 認知症の新薬が必要な人に届く体制の整備を求める意見書
- オンライン本会議の本格実現を求める意見書
- 北朝鮮による弾道ミサイル技術を使用した衛星打ち上げに断固抗議し、制裁措置の厳格な履行等を求める決議



詳しくはこちら



県議会広報ラジオ番組 FM NACK5 GOGOMONZ(ゴゴモンズ) 埼玉県議会におじゃましまーす!スペシャル

議長や主要会派議員が、落語家の三遊亭丸丸さん・タレントの横田かおりさんと県議会や議員の仕事についてトークを展開!プレゼントが当たる企画もあります!



詳しくはこちら



放送予定日

11月27日(月)~11月30日(木) 4日間
各日 14:06~14:21 15分間
FM NACK5「GOGOMONZ」内で放送!

県議会広報テレビ番組 テレ玉(地デジ3チャンネル) 「こんにちは県議会です」

県議会に関するさまざまな情報を分かりやすく紹介しています。番組の最後にはプレゼントコーナーもあります。ぜひご覧ください!

放送予定日

- 特別委員会だより 11月26日(日) 10:00~10:30
- 新春インタビュー 令和6年1月1日(月・祝) 10:00~10:30

詳しい放送スケジュールは、随時ホームページでお伝えいたします。▶

午前10時から



秋のSNS 11月30日(木)まで

フォロワーキャンペーンを開催中!

現在、埼玉県議会公式X(旧Twitter)では素敵なプレゼントが当たるフォロワーキャンペーンを開催中!ぜひご参加ください。

応募方法

- ①県議会公式X(旧Twitter) (@saitamakengikai) をフォロー
- ②フォロワーキャンペーンのポストをリポストしてくださいね!



ぜひ、ご覧ください!!



本会議の様子はインターネット中継でご覧になれます。左の二次元コードからアクセスできます。



委員会 レポート

10月6日に常任委員会を開き、条例などの議案の審査などを行いました。審査の結果、議案17件(知事提出議案16件、議員提出議案1件)を原案の通り可決すべきものと決定しました。また、請願2件を不採択とすべきものと決定しました。
10月11日に特別委員会を開き、付託案件の審査を行いました。
なお、議員提案の議案1件「埼玉県虐待禁止条例の一部を改正する条例」については、撤回請求が提出され本会議で承認されました。

議会運営委員会

9月15日と定例会中の4日間、会議を開き、本会議を円滑かつ効率的に進行するため、議事日程、質疑質問者の人数、採決の方法や順序などについて会派間の協議を行いました。



千葉達也
副委員長



細田善則
委員長



萩原一寿
副委員長



特別委員会

自然再生・循環社会対策 特別委員会

農林業・農山村の循環型社会への貢献について審査

地方創生・行財政改革 特別委員会

地方財源の確保対策、地方創生・SDGsの推進について審査

公社事業対策特別委員会

(株)さいたまアリーナ、(公財)埼玉県公園緑地協会、埼玉県住宅供給公社における改革の取り組みについて審査

少子・高齢福祉社会対策 特別委員会

地域医療および新型コロナウイルス感染症への対応状況について審査

経済・雇用対策特別委員会

先端産業の推進と企業誘致について審査

危機管理・大規模災害対策 特別委員会

災害に強い県土づくりについて審査

人材育成・文化・スポーツ 振興特別委員会

文化の振興について審査

常任委員会

企画財政委員会

令和5年度埼玉県一般会計
補正予算(第2号)
財源の残高について

Q 新型コロナウイルス感染症対策推進基金や、原油・物価高騰対策に活用できる財源はどの程度残っているか。

A 同基金残高は、令和5年度末見込みで約53億円。これ以外に、今後活用できる財源は、財源調整のための基金が約219億円、令和4年度決算剰余金が約270億円など、合計で約500億円程度ある。

産業労働企業委員会

商工会・商工会議所への支援について

Q 今後、収益力の弱い企業が倒産することで地域経済に打撃を与えること、どのように対応していくのか。

A 金融機関の伴走支援により経営改善を図りながら、借り換えなどに利用できる伴走支援型経営改善資金を創設した。また、相談体制の確保のため中小企業診断士の資格取得促進や、職員研修を充実させている。

総務県民生活委員会

令和5年度埼玉県一般会計
補正予算(第2号)
eスポーツについて

Q 県は、今後eスポーツ振興の拠点づくりに取り組んでいく考えはあるのか。

A ところざわサクラタウンなど民間事業者の取り組みを県が後押しし、機運の醸成を図る。現在整備を進めているスポーツ科学拠点施設についても、民間事業者がeスポーツで活用することに関心を示している。

県土都市整備委員会

令和5年度埼玉県一般会計
補正予算(第2号)
線越明許費について

Q 約92億7800万円の線越明許費を9月に設定する理由は何か。また、12月以降に線越明許費を設定する予定はあるか。

A 適正な工期の確保のため、年度内完了が困難な事業について、早期の線越明許を設定。現時点で、12月以降の予定は不明だが、必要となれば線越明許費の設定をお願いしたい。

環境農林委員会

浄化槽の法定検査受検率について

Q 一括契約制度や公共浄化槽の導入は、業界や市町村の事務負担が増大する。市町村などへの事務支援や補助事業における課題と対策について、法定協議会で項目立てをして協議することが重要だ。

A 現在、法定協議会で浄化槽による汚水の適正処理の促進に向け協議している。今後、項目立てをして検討する。

文教委員会

埼玉県男女共同参画苦情処理委員会による勧告について

Q 県立高校の共学化を検討するに当たり、別学高校の在校生、保護者、職員、OB、受験生などにアンケートを実施し、県民の声を広く聞くべきと思うが、具体的にどのように検討するか。

A 関係する方々のご意見を丁寧に向う必要があると考えている。対象や意見聴取の方法については、現在検討しているところである。

福祉保健医療委員会

令和5年度埼玉県一般会計
補正予算(第2号)
高齢者施設等への補助金について

Q 感染症対策を行う高齢者施設などへの補助金は、施設からの申請を受けて交付するプル型の支援か、それともプッシュ型の支援か。また周知をしっかりと行うべきだがどうか。

A プル型の支援である。県のホームページ『さいたま介護ねっと』で、申請方法を掲載し申請しやすくなるように対応している。

警察危機管理防災委員会

令和5年度埼玉県一般会計
補正予算(第2号)
高齢者講習施設庁舎建設工事における「素検出」について

Q 高齢者講習施設庁舎建設工事でのヒ素が検出されたが、地域住民への影響はあるか。また、住民に対してどのように対応し、その反応はどうか。

A 人体への危険性はない。近隣世帯に説明し、県警察ホームページなどで情報を公表した。今後、最終調査結果も説明、公表予定。地域住民から理解を得られたと認識している。

決算特別 委員会を設置

令和4年度一般会計および特別会計決算、公営企業会計決算を審査します。委員は次の通りです。定数18人(◎は委員長、○は副委員長)

- ◎藤井健志(自民)
- 小川直志(自民)
- 鈴木まさひろ(自民)
- 渋谷真実子(自民)
- 金子裕太(自民)
- 林 薫(自民)
- 柿沼貴志(自民)
- 戸野部直乃(公明)
- 伊藤はつみ(共産党)
- 八子朋弘(県民)
- 松坂喜浩(県民)
- 白根大輔(民主フォーラム)
- 美田宗亮(自民)
- 辻 浩司(民主フォーラム)
- 小久保憲一(自民)
- 権守幸男(公明)
- 新井一徳(自民)
- 梅澤佳一(自民)

県議会クイズ

〇〇〇に当てはまる言葉は何でしょう。

ヒント
3面をよ〜く読んでね!

11月27日(月)~11月30日(木)にFM NACK 5で県議会広報〇〇〇番組「GOGOMONZ 埼玉県議会におじゃましてーす!スペシャル」が放送されます。

プレゼント
図書カード(1,000円分) ... 20名様

県議会ホームページから応募いただけます。

はがき下記のようにご記入の上、12月1日(金)(当日消印有効)までにお送りください。正解者の中から抽選でプレゼントを差し上げます。当選者の発表は、プレゼントの発送をもって代えさせていただきます。対象は、埼玉県内に在住・在勤・在学している方のみとなります。

〒330-9301 埼玉県議会事務局

「県議会クイズ係」政策調査課

- クイズの答え
- 郵便番号
- 住所
- 通勤通学先の市町村名(県外にお住まいの方のみ)
- 氏名・年齢
- 埼玉県議会だよりに関するご意見

【個人情報の取り扱い】応募はがきは、抽選とプレゼントの発送以外の目的には使用いたしません。

